

○目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	本年度の重点目標
<p>【学校教育目標】</p> <p>ふるさとを愛し、みんなとともに未来を創る 前山っ子の育成                  自治自立をめざす児童像にした学校づくり                  ～きのうよりも 一歩のびる～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 居場所のある学級、なかまづくりといじめや不登校のない学校づくり</li> <li>○ 「地域とともにある学校づくり」の推進による活力ある学校づくり・・・コミュニティ・スクール前山による学校経営</li> <li>○ 知識・理解の質を高めつつ、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>○ 特別支援教育の充実</li> <li>○ 「たんばふるさと学」の推進によるふるさとへの愛着と誇り、自らを活かそうとする態度の醸成</li> <li>○ 地域に愛着と誇りの持てる防災教育の推進</li> <li>○ 「自己有用感」を伸ばさせるキャリア教育の推進</li> </ul>

○自己評価

領域	評価の観点	評価項目	達成状況	学校の取り組み状況と改善の方策
学校運営	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ・暴力ゼロ市民運動の推進</li> <li>・ 不登校対応</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治自立をめざし、児童会が企画する行事や朝会等で、「つながり」を意識したものを考え、実施した。</li> <li>・ 縦割り班掃除や児童会活動での自治活動が活発にでき、自分や友だちの良さに気づき、自己肯定感を高められた。</li> <li>・ いじめアンケート及び個別面談を毎学期実施し、早期発見・早期対応の取組ができた。</li> <li>・ 不登校対応を組織的に取り組み、新たな不登校児童を出すことはなかった。</li> </ul>
	開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的な情報発信</li> <li>・ オープン参観日等の実施</li> <li>・ アンケートの実施や学校評価の公開</li> <li>・ コミュニティ・スクール前山による学校経営</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校便り「五台山」を毎月発行し、学年通信も適宜発信することができた。</li> <li>・ 参観してもらい機会を確保できている。</li> <li>・ アンケート内容を事前に周知し、アンケートを実施することができた。また、最後の学年懇談会でアンケート結果をお知らせし、意見交流することができた。</li> <li>・ 年3回の学校運営協議会を実施し、子どもたちの自治自立をめざして協議し、学校運営することができた。</li> </ul>
教育課程	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上</li> <li>・ 主体的対話的で深い学びをめざした単元構成の研究</li> <li>・ 校内研修の充実</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力学習状況調査等の結果分析をし、全職員が共通理解をして、指導の工夫と授業改善に取り組んだ。</li> <li>・ 丹波市学習定着度調査の算数においては、3～6年生の校内正答率が全て目標値を上回った。</li> <li>・ 子ども同士がつながり、学び合い、高め合う授業づくりの推進に取り組んだ。</li> <li>・ 講師招聘による授業研修(算数)を実施し、「主体的対話的で深い学び」の実現に向けた研修ができた。</li> </ul>
課題教育	特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の特性や課題に応じた指導支援</li> <li>・ 適切な就学指導</li> <li>・ 保護者との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の課題に合った適性に応じた対応を行った。</li> <li>・ 保護者の願いに寄り添う支援、組織的な対応を行った。</li> <li>・ PTA総会や入学説明会での特別支援教育の啓発と適切な就学指導ができた。</li> <li>・ 関係機関との連携ができた。</li> </ul>
	ふるさと教育・防災教育・キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災教育の充実</li> <li>・ たんばふるさと学の推進</li> <li>・ キャリア教育の推進</li> <li>・ 地域人材の活用やPTA等との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災教育を組み込んだ総合的な学習の時間の年間指導計画と生活科年間指導計画が実施できた。</li> <li>・ 総合的な学習の時間の中で今年もたんばふるさと学ができた。</li> <li>・ 総合的な学習の時間やクラブ活動、毎週月曜日の本読み隊など、地域からゲストティーチャーとして来ていただき、地域と連携した教育活動を実施することができた。</li> </ul>

○学校関係者評価

自己評価の各観点に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ防止等の学校基本方針に基づき、いじめアンケートを定期的に実施し、早期発見・早期対応に努めている。「いじめを受けている」と一人でも回答したら見逃さず、迅速、丁寧に対応し、安心した学校生活が送れるようにしてほしい。</li> <li>・ 自治自立をめざし、様々な取組を新たに行い、全員登校日数が昨年度の日数を上回った。少人数を生かした縦割り班の取組により異学年のよい関係づくりができています。</li> <li>・ 定期的にケース会議を実施し、関係機関と連携を図り、不登校解消に向けた取組ができています。また、不登校傾向児童の対応を組織的にを行い、新たな不登校を出さない取組の成果が出ている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンスクールや学校便りで学校の様子がよくわかる。ホームページに学校行事予定や各学級の様子を定期的に公開してほしい。</li> <li>・ 年間を通じて学校と地域住民がつながる活動が計画的に行われ、参加している地域住民も子ども達とふれあうことに楽しみにしている。参加した地域住民が個々の成長を感じる取ることもできた。</li> <li>・ コミュニティ・スクール前山として学校運営を計画的に実施することができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丹波市学習定着度調査の算数においては、実施したすべての学級において目標値を上回ったことを高評価する。国語においては、上回らなかった学級もあったので、読解力の向上に努めてほしい。また、目標値に到達しなかった個々の児童への指導・支援をお願いしたい。</li> <li>・ 昨年度の外部評価で課題として挙げていた「自主性を育てる取組」については、「自治自立」をめざす児童像に掲げ、特別活動を中心に児童の自主性を育てる取組が展開されている。学習面においても主体的に学習できるような取組を期待する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の支援の在り方について、教育支援委員会を定期的に開催し、支援方法や体制を共通理解しながら、行っている。今後も関係機関と連携し、児童の課題や特性に合わせた支援を行ってほしい。</li> <li>・ 特別支援教育に関する保護者や児童への啓発は大切なことであるので、今後も継続して行ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豪雨災害の教訓を生かした防災教育の各学年での取組が定着している。防災教育に関する授業公開の重要性を意識して取り組んでいる。</li> <li>・ コミュニティ・スクール前山による学校運営で、地域のゲストティーチャーをこれまで以上に多種多様にわたり活用し充実したふるさと教育が展開されている。さらに地域住民にまでふるさと教育の実践が浸透することを期待している。</li> </ul>

自己評価の実施方法についての評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童、保護者、教職員に対して学校評価項目に沿ったアンケートを実施し、その結果を評価の参考にしている。</li> <li>・ 校内委員会でアンケート集計を行い、集計結果を各家庭に配付し意見を求めている。</li> <li>・ 各種委員会で該当項目について自己評価し改善方を考えている。</li> </ul>
---

学校関係者評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自治自立」を地域・学校・家庭の統一しためざす児童像に設定し、児童が「明日も学校に行きたい」と思えるような、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。</li> <li>・ 全国学力学習状況調査や丹波市学習定着度調査の結果を全教職員で分析し、児童のつまづきポイントを把握し、個の課題に応じた適切な指導を行い、学力を向上させている。</li> <li>・ コミュニティ・スクール前山の運営を通して、ふるさと教育・防災教育・キャリア教育を充実させ、主体的対話的で深い学びの充実を図ってほしい。</li> </ul>
---

学校関係者評価を受けての次年度の改善の方向性について

本年度は、学校教育目標に「ふるさとを愛し、みんなとともに未来を創る前山っ子の育成 一きのうよりも一歩のびる」を掲げ、「自治自立」を地域・学校・家庭の統一しためざす児童像に設定し、コミュニティ・スクール前山による学校運営を行った。いじめゼロ・不登校ゼロをめざし、関係機関と連携を深めながら組織的に子どもの居場所づくりを行い、不登校ゼロを達成することができた。算数科指導においては、京都教育大学黒田恭史教授のご指導のもと、「子ども達がつながり、学び合い高め合う授業づくり」を行い、学力が向上した。

次年度は、コミュニティ・スクール前山による学校運営を継続して行き、「主体的対話的で深い学び」の実現に向け、さらなる学力向上を図っていききたい。

令和2年3月9日

学校名 丹波市立前山小学校

校長名 堀 博文

